

# ? 春日井は、なぜ「書のまち」なの?

みんなの住んでいる春日井は、いろいろな文化や歴史があるまちなんだ。

その中でも特に書が盛んで、「書のまち」と呼ばれているんだよ。

ぼくといっしょに、「書のまち春日井」について見てみよう!



©Kasugai City 2008

書のまち春日井「道風くん」

ぼくのモデルになったのは、今から1000年以上以上も昔にいた小野道風という人なんだ。この人は日本で一番字が上手な人として有名だったんだよ。

道風は春日井で生まれたという言い伝えがある。ここが道風のふるさとだと信じてきたんだ。多くの人が道風のように字が上手になりたい



小野道風肖像画(観音寺蔵)

春日井ですごい人が生まれていった!?

が、あつて、松河戸町にある江戸時代に建てられた石碑に、その内容が記されているよ。春日井の人たちは、



小野道風誕生伝説地(松河戸町)に建つ小野朝臣遺跡碑(道風公園内)



おうぎし  
王羲之の書いた「春」



道風の書いた「春」



ひつびょうぶどだい くないちよう しょうぞうかん  
小野道風筆屏風土代(部分) (宮内庁三の丸尚蔵館)

## 道風の「和様の書」

道風は、日本独特の書の書き方を創ったんだ。上の写真の字を見てみて。右は道風の書、左は中国の書の名人の王羲之が書いたものだよ。

中国の書は、「はね」や「はらい」がしっかりしていて角ばったところが多いけれど、道風の書はやわらかい線で、角ばっているところを丸く書いているよね。

日本らしい、おだやかなこの書を、人々は「和様の書」と呼ぶようになって、それからの日本の書は大きく変わっていったんだ。



## 道風記念館

小野道風のすばらしい書をこれからも伝えていくために、春日井市では道風記念館をつくりました。昨年に40周年をむかえた、日本でも数少ない書の美術館です。夏休みには子ども向けの展覧会や体験教室をやっているので、ぜひ行ってみてください。

## 図書館

小野道風に関する資料を集めた「道風コーナー」があります。このほかにも書に関する本やDVDがたくさん揃っています。

道風コーナーや書の本は、図書館の4階にあるよ！



図書館 (☎85-6800)  
鳥居松町5-44  
(文化フォーラム春日井3・4階)



道風記念館 (☎82-6110)  
松河戸町5-9-3

# こんな行事があるのは、 書のまち春日井ならでは！

春日井の人たちは昔から  
書に親しんでいたんだね。



けんか じどう せいと せきしようまじゅう  
県下児童・生徒席上揮毫大会

(昭和11年から)

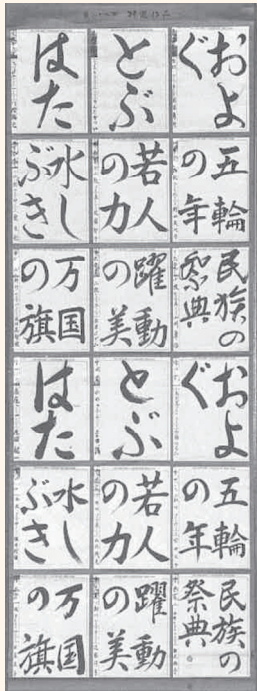


小野小学校に県内の小  
中学校の代表が集まって  
競い合う書道大会です。

86年も前から続く伝統  
的な大会で、毎年その時  
代に合った課題の字句を  
手本なしで書きます。



・第1回(昭和11年)



・第29回(昭和39年) 東京オリンピック開催



・第84回(令和元年) 元号改正

道風展

(昭和24年から)



小野道風の「時代に  
合った新しい書をつくり  
出す」という精神を受けつ  
いで、73年も前から開催さ  
れている展覧会です。全国  
各地からたくさんのお品  
があります。

わくく書つぷ

(平成14年から)



春日井で活躍する書家  
に学校などに来てもらい、  
自由に表現する書の楽し  
さを体験できます。基本  
や正しい書き方を習うい  
つもの授業と違う、書の  
面白さを味わえます。

春日井まつり  
「Kasugai」サ道風

(平成21年から)



音楽に合わせてパフォーマンスをしながら大きな紙に文字を書く、書道パフォーマンス大会です。みんなでひとつの大きな作品を作り上げる書道パフォーマンスはとて迫力があり、盛り上げられます。

書道科の授業

(平成23年から)



小学1年生から筆を持つて書を習うのは、全国でも珍しい春日井市独自の取り組みです。字が上手になるだけでなく、集中力がつくことも目指しています。



みんながたくさん書に触れて、書を好きになってくれることがぼくの願いなんだ！  
これからも春日井ならではの書の文化をもっといっぱい知って、みんなに受けついでいてほしいな！



おおよ とうこ  
大矢塔子さん

interview

中部中学校2年生

道風展学生条幅の部では、愛知県知事賞(第71回)、春日井市長賞(第70回)など、受賞歴多数。昨年(第73回)は愛知県議会議長賞を受賞。  
「第48回人権を理解する作品コンクール」書道部門にて最優秀賞を受賞。

皆さんへのメッセージ

書は自分の思い描いたものを表現できるので楽しいです。作品を作り上げるために、努力の積み重ねや集中力が必要なため、辛いときもありますが、そうして作り上げた書で自分の個性や想いが出せるというのが最大の魅力です。皆さんもぜひ筆を手にとってみてください。

A.

先生にご指導いただき、書き直しを何度もしますが、なかなか納得できず、なかなか書けないことです。それでも私は「あきらめない」この気持ちをもち、字を書くことに臨んでいます。

Q.

字を書く上で、難しいと感じるところはどこなところですか。

A.

4歳上の姉が習字を習っていたこともあり、それを見て私も書きたいと思ったことがきっかけでした。

Q.

なぜ書を始めたのですか。

黄河千里楼若非金谷  
満園樹即是河陽一縣

大矢さんの作品

褚遂良(中国・唐の時代の人物)の「枯樹賦」を臨書